

連携・協働の力・タ・チ

令和3年11月9日発行 福島県教育庁会津教育事務所



コミュニティ・スクールを生かした**学校経営 Update**

＝会津美里町教育委員会の取組＝

会津美里町は、令和4年度からコミュニティ・スクール（以下CS）を、町内全ての小・中学校に導入します。会津美里町教育委員会では、CS導入を見据え、校長先生方を対象に、CSを生かした学校経営ビジョン作成についての研修会を11月4日に実施しました。

CSの運営においては、「熟議」・「協働」・「マネジメント」の三つの視点をもって、左下図のような共有の好循環をつくるのが重要です。



出典：文部科学省パンフレット『コミュニティ・スクール 2018 ～地域とともにある学校づくりを目指して～』

研修会では、会津教育事務所の主任社会教育主事が講師を務め、上記視点の一つ「熟議」の進め方について、「育成を目指す子どもの資質・能力」をテーマに模擬熟議の演習等を行いました。研修会の様子を写真で紹介します。



【講義及び演習についての説明】



【模擬熟議（グループ内での話し合い）】



【模擬熟議（グループ内での話し合い）】

今回の模擬熟議では、KPT法（効果的な振り返りをするための実践方法）を活用して、中学校卒業時の生徒にどんな資質・能力を育みたいかについて話し合いました。

K : Keep, Good・・・うまくいっていること、良いこと

P : Problem・・・問題点、課題

T : Try・・・試してみたい事、工夫・改善策



【模擬熟議（全体での共有 シェアリング）】

◆◆◆◆◆ 熟議を行うメリット ◆◆◆◆◆

学校の課題や問題を学校だけで抱え込んでしまうのではなく、保護者や地域住民等、多様な関係者と共に「一つのテーブル」につき、「熟慮」し、「議論」することにより、新しいアイデアが生まれ、今後の方針を決めていくためのたくさんのヒントが得られます。

また、熟議を通して、関係者の当事者意識が高まり、目標の実現や課題解決に向かう各自のパフォーマンスを高める効果が期待できます。

効果的なCS運営には教育委員会の支援が大切です！

CSは導入したけれど、うまく運営できていないと感じている校長先生もおられるのではないかと思います。CS導入の成果が表れるまでには、ある程度時間がかかります。効果的なCSの運営ができるようにするためには、研修の機会を設けるなど、教育委員会の計画的・継続的な支援が大切です。



会津教育事務所はCSの導入・活用等を支援します！

会津教育事務所は、CSの導入や効果的な活用、熟議の仕方について、各市町村や各学校での研修会等に、社会教育主事を派遣し、支援いたします。昨年度からたくさんの依頼をいただいております。CSに関することで何かございましたら、お気軽に御相談ください。